

ヤマト絵日記 その18



新春講演会



講演テーマ「県立高校や公立病院などの社会的 共通資本を持続可能にして故郷と平和を守ろ う！ー草の根の住民運動から得た教訓ー」

講演をいただく黒木秀尚氏は、社会的共通資本は、先人が地域を持続可能にするため陳情などを繰り返して勝ち取った地域の宝である。なくすと地域は衰退し、やがては消滅してしまいかねない。との危機意識を持たれ、県立上下高校存続のため支援する会の代表に就かれ、府中北市民病院を守るため地域医療を守る会を結成。草の根の住民活動をされています。

とき:2月23日(日) 10:00~
ところ:西城自治振興センター2階大集会室・参加費無料・申込不要

西城自治振興区の動き 第5回役員会

1月29日(水)
次の事項について協議しました。
◇令和6年度事業 西城町自治振興区連絡協議会 新春講演会
◇庄原市自治振興区振興交付金交付要綱の一部改正について
◇JR芸備線の今と未来を考える沿線住民団体サミットについて
◇役員改選

健康マージャン はじめました



賭けない!飲まない!吸わない!を約束にします。脳トレ効果抜群のマージャンを始めませんか?西城独自ルールで初心者でもお気軽に参加できます。楽しく脳トレ、仲間づくり、生きがいがづくり、健康づくりが目的です。詳しい内容は西城自治振興センター ☎0824-82-2175へ連絡して下さい。毎月第2水曜日13:30から西城自治振興センターで開催

シニアヨガレッスン

西城自治振興センターでは、シニアヨガレッスンを毎月3回、祝日を除いた第2.3.4火曜日13時半から開催しています。初めての方でもチャレンジしやすいポーズを丁寧に指導させていただきながらみんなで楽しく体を動かしています。ヨガには柔軟性や体幹の強化、姿勢の改善、基礎体力の向上など嬉しい効果がたくさんあります。この時期は冷えて血行が滞りがちなので、しっかり下半身を動かすことで血流改善にも。さらに慢性的な腰痛や肩こりにも効果的です。ぜひ、ヨガをしたことない人も、ヨガが好きな方もお気軽にお越しください!お待ちしております♪

生涯学習自主運営教室



シニアヨガレッスンで柔軟性や体感の強化

西城保育所 旧正月の書き初め



西城自治振興区にお越しください

西城自治振興センターにて「なみかカード・ほろかカード」で5ポイント付与されます。1日1回限り 営業時間内 令和7(2025)年3月31日まで

ドローンサッカー体験会

1月23日(木)今月もモルックが終わり昼食までのひと時、ドローンサッカーを体験してもらいました。椅子に座ってコントローラーを操作します。ドローンがゴールを通過すると拍手と歓声!指と頭を使った楽しい時間でした。

パソコン教室 参加者募集!

2月28日(金) 3月14日(金) いずれも13:30~ 講師:宮原賢治さん

西城自治振興区だより 2025.2.20(木) Vol.152
西城まちづくり便
☎729-5722 広島県庄原市西城町大佐734
TEL/FAX:0824-82-2175
e-mail:saijyo.jichi@gmail.com

芸備線ラッピング列車 お披露目

令和3年11月から運行した「カーラッピング列車」を見かけるたびに「わくわく」しました。乗車出来たらラッキーだとも思っていました。人気のあった赤いカープ号。令和5年12月に運行が終わりました。あれから1年余り経った1月19日に庄原市が企画した「庄原さとやまトレイン」のお披露目式が備後庄原駅で開催され、約300人の応援者が集まりました。

「庄原さとやまトレイン」の特徴は、正面はヒバゴンとキョロやま君。乗降口面は庄原市が誇る「熊野神社、帝釈峡、三河内の棚田、上野公園の桜」の景観をバックに庄原市内の4高校「西城紫水、東城、庄原実業、庄原格致」の生徒をイメージしたイラストが配置されて目立ちます。今後約2年間、JR芸備線の三次駅一備後落合間を主に運行し広島駅やJR福塩線府中駅までも走行します。

新幹線のドクターイエローを見かけたら幸福になる噂があります。「庄原さとやまトレイン」を見かけたら幸福になれる。乗車出来たらもっと幸福になれると信じています。そんな「わくわく」が芸備線存続に繋がっていくと思います。

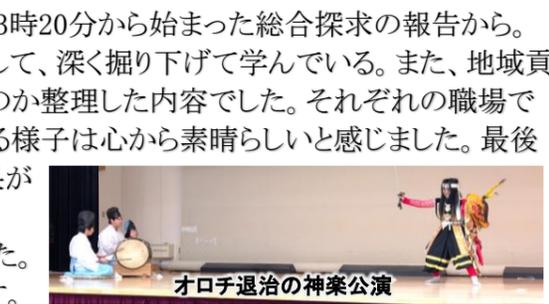
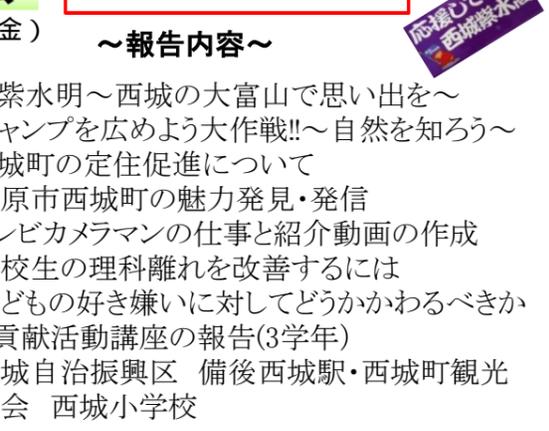
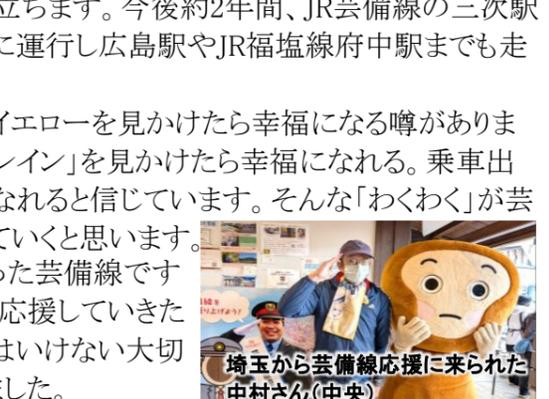
少ない本数になった芸備線ですが、沿線からずっと応援していきたい、決してなくてはならない大切な財産だとも思いました。

西城紫水高校学習成果報告会

西城紫水の探求学習
1月24日(金) 総合探究
発表者のあいさつ
写真や動画を使った発表

前年度に引き続きウイル西城2階ホールで開催されました。13時20分から始まった総合探究の報告から。生徒たちが課題を決め、真剣に取り組み、情報を集めて分析して、深く掘り下げて学んでいる。また、地域貢献活動は教室から離れ、社会人との関りを体験し何が大切なのか整理した内容でした。それぞれの職場での学びに感謝の言葉がありました。成果を自分の声で発表する様子は心から素晴らしいと感じました。最後に部活動報告の神楽公演。猿田彦とオロチの舞は練習の成果が見て取れるものでした。いつの間にか16時を過ぎていました。報告会に出席し西城に紫水高校があることを誇りに思えました。西城の皆さん、来年は一緒に参加しましょう。感動に会えます。

ヒバゴンのまち 自然豊かな広島
県庄原市西城町
の様々な情報をお届けします♪
西城町観光協会とタイアップした
情報サイトです
地域の情報などを発信します
*こちらからお入りください



安心・安全で元気な町づくりをめざします～設立から12年、新たな挑戦～

今こそ、問われる地域防災のとりくみ！

～総務広報部は、14の各自治会ごとに、「地区防災計画」をつくる取り組みをはじめています～

防災のまちづくり＝つながりのチカラ

1月12日(日)、令和7年庄原市消防出初め式が、庄原市総合体育館で行われ、総勢431名の規律ある勇壮な姿に、地域の防災力は、住民主体の自主防災組織と消防団との連携の力にあることを強く感じさせられました。(庄原市消防団西城方面隊消防後援会連合会長として出席しました) 現在、豪雨による河川の氾濫や土砂災害、あるいは台風・豪雪、そして地震も各地に多発しています。1月14日(水)宮崎での地震では南海トラフ地震との関係調査がなされるなど、災害が大規模化・多様化・激甚化しているので心配が増えています。「災いは忘れたころにやってくる」のではなく、いつ何時、どこで起こってもおかしくないと、



木山市長式辞

皆さん思われるようになりました。能登半島地震(つづいての豪雨による複合災害)から、丸1年。被災地の教訓が語られ、なかでも被害は直接死をはるかに超える「災害関連死」を出したこと。大事な核心は、「非常時の対応は、平常時の延長なのだ」ということでした。これらの非常時の対応は、「いざ災害が発生すれば、なんとかなる」と言った、そんな虫のいい話はあろうはずもなく、普段から備えていなくては、たいていは無理です。



木山市長 小林県議、林市議会議長の観閲

災害発生から数日は、山間部ではとくに、倒木や山崩れ・地すべりなどにより道路が寸断されて、集落の孤立がおこり、行政の支援を頼ることは難しく、被災住民自らが対応しなければならないことがあらわになりました。心のどこかに、「いざとなれば、行政が助けてくれるはず…」という甘えがあったと。行政の対応には限界があり、住民一人ひとりの動きが基本でなければならないと。そこには、地域コミュニティのチカラ、住民力が問われているのだと教わりました。

《1月17日(金)には阪神・淡路大震災から30年が、特別番組も組まれて大きく報道されて、被災者の「あの日」の教訓が語られました。この間には、東日本大震災・熊本地震・西日本豪雨など「想定外」の災害が頻発し、風水害による被害も毎年のように起き、そして首都直下地震や南海トラフ大地震の脅威を前にして、取りざたされている「防災庁」の創設も現実味を帯びています。》

みなさんは突然の災害に備えて、何か準備をしていますか？

作ろう、わが家の防災計画、「いつか」ではなく「今夜」に備える！

状況や事情によっては、避難所に行かない「おうち避難」も言われるようになりました。そのためには、避難時の「防災リュック」の用意とあわせて、最低限必要なものを家族で準備する「おうち備蓄」のすすめが語られます。これまでは、目安として「3日分」でしたが、現在では、大規模な災害に備えて「7日分」の確保が推奨されています。「目安＝家族の人数×7日分」。飲料水、主食、缶詰・瓶詰、レトルト食品・フリーズドライなどです。とくに、水はひとりあたり1日3リットルを目安に。また、簡易トイレなども言われます。



「団旗・警旗・団員整列」

安心して在宅避難をするためにも家族で話し合い、そして、ご近所でも話し合っって防災意識を高めて、地区防災活動の輪を広げていきたいと考えています。非常時の混乱している雑踏のなかで、「あの人の姿がない！」と気づけるのは、平素のつながりがあるお方だけだと。大切な教訓です。

どうぞ、よろしくお願いします。

西城自治振興区 会長 田村富夫

ななしの会(愛善苑あんしんリビング小地域サロン)

ななしの会は、あんしんリビングの入居者が一堂に会して、お茶を飲みながらおしゃべりをしたり、みんなで合唱を楽しんでおられます。愛善苑の竹元さん、池田さん、瀬尾さん、伊藤さんの4名で運営されており、皆さんのスケジュールなどを調整しながら、毎月あんしんリビングの中央ホールで開催されています。



昔話に盛り上がりします

1月22日の会には、6名が参加され、社協の池尻さんのお世話により、はじめの懇談は、参加者の若い頃を思い出させるように西城に昔あった劇場や旅館をはじめ、神楽や花火大会の話などを話されました。進行される池田さんの語り口は軽妙でリズム感があり、思わずうなずき、笑みがこぼれ、場が和み、盛り上がりま

す。続いて、全員で、「おお牧場はみどり」、「瀬戸の花嫁」、「ああ人生に涙あり」、「二人は若い」、「星影のワルツ」、「北国の春」など誰でも聞いたことのある9曲をアカペラで大合唱しました。曲の合間にも池田さんの軽妙な語り口は続き、「ああ人生に涙あり」を合唱した後は、「ああ人生に涙あり」の歌詞を「どんぐりころころ」のメロディで歌ったり、逆に、「どんぐりころころ」の歌詞を「ああ人生に涙あり」のメロディで歌うなど遊び心満載の合唱となりました。



あんしんリビングの皆さん

「段々と耳が聴こえんようになったが、みんなと一緒にしゃべりするのが楽しみ」、「みんなが集って楽しめるんで、なるべく参加しとるんよ」など、皆さんがサロンへの参加を楽しみにされています。

記:石堂地域マネージャー

「成人の日」恒例の新春講演会

明けましておめでとうございます。今年、最初のニュースです。



郷力院長先生の講演

大屋今櫛会では1月13日(月)「成人の日」恒例の新春講演会を開催いたしました。

講演は西城市民病院 院長 郷力先生に「高齢者の健康とそれを取り巻く医療」と題して、丁寧にわかりやすく話していただき、皆さんがわが身のこととして熱心に聞き入っておられました。

2部として、食事をとりながら西城神楽愛好会の素晴らしい舞を観賞した一日でした。

現在、神楽愛好会には紫水高校生も在籍されて頑張っておられます。応援よろしくお願いします。大屋今櫛会 会長 岡田隆博 談



神楽を観賞しながら食事会

子ども会で伝統の「とんど焼き」

1月12日(日)に五日市公盛会自治会子ども会で「とんど焼き」を行いました。

五日市公盛会



子ども会参加者は総勢17名。各家庭から持ち寄った正月飾りを燃やした煙とともに、年神様をみんなでお見送りしました。

降り積もった雪も残り、寒空の下でしたが、こどもたちは、点火して燃え上がったやぐらで温まり、とんど焼きの火で焼いたお餅やマシュマロチョコレートをいただいたりして、エネルギー満タン。竹のはじける音に驚きながら、舞い上がった灰を追いかけたり、かまくらを使った雪遊びに夢中になったりと、元気いっぱい楽しんで、今年1年元気に過ごせるようお祈りしました。五日市公盛会自治会 子ども会事務局 樋口智絵 記



かまくらも作りました



とんど焼きに参加された皆さん